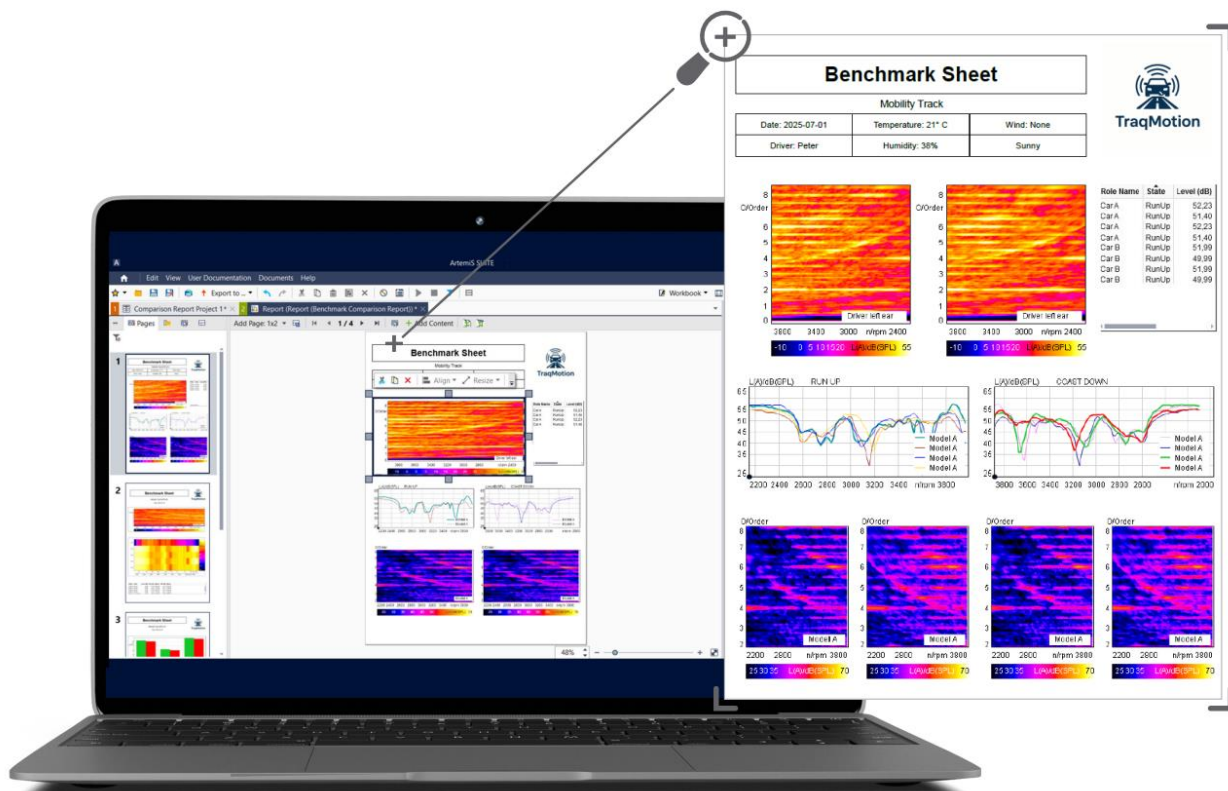


データシート



ArtemiS SUITE
Project

Code 50021

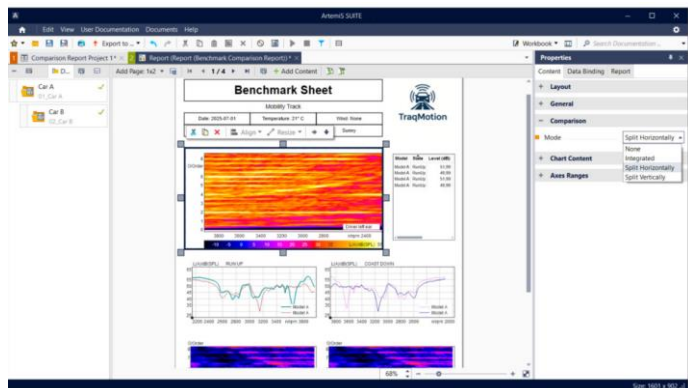
APR 021 比較レポート

ArtemiS SUITEの比較レポートにより、わかり易く整理された動的レポートでバッチ処理を用いてデータ分析・比較ができます。簡単なボタン操作でベンチマーキングや製品開発段階ごとの比較が可能です。

APR 021
比較レポート
Code 50021

比較レポートプロジェクトを使用して、自動化プロジェクトでワンステップでデータを計算し、結果をグラフ（2D、3D、XY、カラーバンド、単一値等）に全部まとめて、或いは個別にレポートを出力させることができます。これにより、大量のデータでも相違点や類似点を素早く分析できます。

比較レポートプロジェクトは、レポート（APR 020）と自動化プロジェクト（APR 050）の適用範囲を拡大し、ワークフローを簡素化し、データ評価の生産性を大幅に向上させます。



主なフィーチャー

1枚のわかり易いレポートでデータを素早く比較

- 測定データ、合成データなど、任意の量のデータと任意の数の分析結果を互いに比較できます。
- 結果の差異比較のために、個々の仕様に合わせて変数を使って個別に分析パラメータを変更できます。

自動化プロジェクトを使用した簡単または複雑なデータ準備と処理

- ＞ 自動化プロジェクトの様々な機能、分析、その他のプロセスを用いた個別のシーケンスを使用できます。
(自動化プロジェクトでArtemiS SUITE 信号処理オプション (ASP) を利用するには、それぞれのライセンスが必要になります。)

以下を利用したレポートの作成

- 2D、3D、XY、カラーバンド、ポイントマップ、バタフライダイアグラム
- 単一値（図、表）
- テキスト、画像、音声ファイル

レポート、PPTX、PowerPointまたは結果データとして出力

アプリケーション

- ＞ ベンチマーキングなどのために、任意の量のデータと任意の数の分析結果を自動比較
- ＞ 製品最適化のために、異なる開発段階を比較
- ＞ バッチ処理モードでオートメーションプロジェクトと連携

詳細

比較レポートプロジェクト

既存オプションの拡張

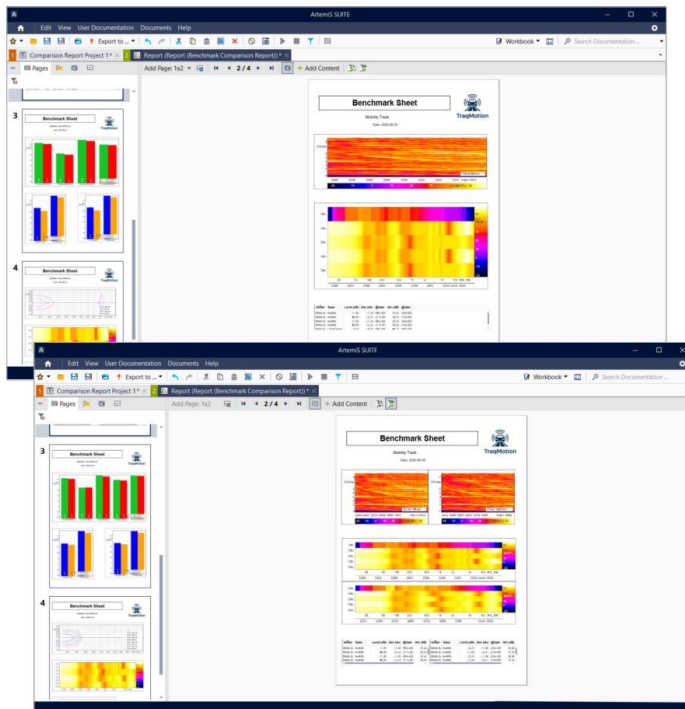
レポート（APR 020）と自動化プロジェクト（APR 050）の組合せ利用に比較レポートプロジェクトを加えることにより、さらに利便性が向上します。

自動化プロジェクトは、比較レポートプロジェクトのバッチ処理機能により、任意の量のデータをワンステップで処理可能です。バッチ処理モードは、反復的に行うタスクや、計算負荷の高いタスク、或いはマニュアル負荷の高いタスクを特に効率的に処理できます。エラーを低減し、ワークフローを簡素化し、データ評価の生産性を大幅に向上させます。

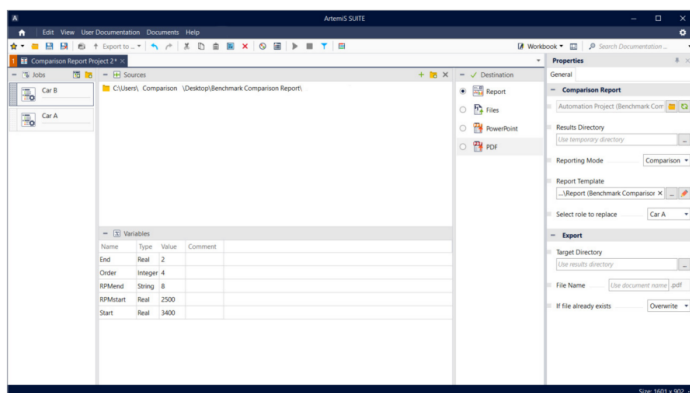
レポートは、比較レポートプロジェクトによって効果がパワーアップされます。個々にレポートを作成する必要なく、ワンレポートで任意の数のデータを直接比較できます。レポートは最適な比較表示のための追加機能も備えています。

既知の変数の利用

レポートと自動化プロジェクトを賢く組み合わせることの利点は、任意の量のデータをバッチ処理して自動比較ができるというだけではありません。自動化プロジェクトから、製品バリエーションに対応した既知の変数を検出し迅速に最適化を行います。



通常のレポートモード（上図）からボタンタッチで比較モードへ



個々に調整可能な変数を用い、製品や部品の派生機種を調査

ボタンワンタッチでレポート作成

自動化プロジェクトとレポートは、比較レポートプロジェクトを作成するためのベースとなります。明確に整理されたインターフェースにより、比較対象とするデータ（ジョブ）を選択することができます。任意の数の個別ファイルやデータフォルダー全体を選択することもできます。データ構造は互いに比較可能でなければなりません、自動化プロジェクトは異なる構造を処理するためのオプションも実装しています。

比較レポートプロジェクトで既に計算された分析結果も、新しいレポートのために選択して、まだ分析されていないデータと組み合わせることができます。このようにして、既存の参照データを新しいデータと迅速かつ簡単に比較することができます。

ボタンワンタッチで、結果が自動的にレポートに反映されます。すべてのデータソースは、複数のレポート要素で一緒に表示されるか、個々にレポート要素ごとに横一列または上下に表示されます。

ファイルにある複数の異なるバリエーションを処理したい場合は、比較レポートプロジェクトのインターフェースを利用して、自動化プロジェクトで定義した変数を調整できます。

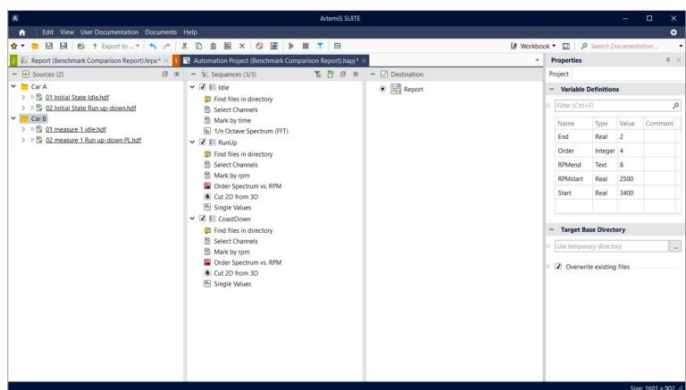
自動化プロジェクトやレポートに変更を加えるためには、テンプレートを変更し、それを比較レポートプロジェクトで更新するだけで済みます。

出力オプション

結果はレポート、PowerPointプレゼンテーション（*.pptx）、またはPDF形式で出力されます。自動化プロジェクトのみを計算する場合、これらがファイルとして保存される唯一の結果です。



表示オプションの例



シンプルな自動化プロジェクトの例

レポート (APR 020) の表示オプション

2D/3D Diagram

- 2D / 3D データセットの個別表示、編集可能
- 時刻歴データ、2D / 3D 解析（時間特性/RPM 特性 ...）
- 公差曲線
- パルスチャンネルは“パルスレート”または“トリガー”タイプであればひとつに合わせて表示可能

XY グラフ

- 時間軸を共有する（同じ物理量および単位かつ共通の横軸サブレンジ） 1 つまたは 2 つのHDFファイルからの 2 つのチャンネルの関係のグラフィック表示
- 時刻歴データ、2D解析（時間特性 / 回転数特性）、...
- 単一の負荷サイクルおよび振動形状の視覚化
- コンポーネントなどの振動表示

カラーバンド図

- 1つの図での複数の2D結果をわかり易く表示
- 個々の2D曲線をカラーバンドで縦に並べて表示
- 縦軸の色分け
- 時刻歴信号および2D解析結果の表示
- 「パターン」の素早い認識と比較
- 有用な信号の迅速な取得によるマルチチャンネル測定の実操作性向上
- 伝達経路解析の経路寄与のわかり易い表示

ポイントマップ図

- 2つの基準量の関数としての単一値のグラフィック表示
- ポイントマップとポイントマップラスター（オプション）要素を使用して、自動化プロジェクト（APR 050が必要）で対応するデータセットを作成可能

バタフライ図

- 2次元データセットのグラフィック表示
- 任意の数の正規2Dデータセットの表示

単一値図

- 棒グラフによる単一値のグラフィック表示
- 複数の単一値（最小、最大、平均）を一つの値に集約

単一値テーブル

- 統計的単一値の表形式の表示
- 単一値を線形または他の物理量、およびdBで表示

テキスト

- 自由に入力されたテキストのフォーマット表示
- 変数によって自動生成されたテキストでテキストフィールドに自動入力
- リンク先の文書からの追加情報利用
- コメントの挿入

図

- 例として、挿入
- 会社のロゴ
- 測定セットアップのイラスト

オーディオ

- プレゼンテーション中にマウスのクリックで再生できる音声やオーディオファイルを埋め込み、PowerPointとしてエクスポート後に利用

ライセンスとオプション

一般要件

Code	Product Name	Application Scenario
50000	APR 000 APR Framework	The license for APR 000 is the basis of ArtemiS SUITE and is required for all application scenarios.
50021	APR 021 Comparison Report	The license for APR 021 is required to open, edit, and calculate a Comparison Report Project
50020	APR 020 Report	The license for APR 020 is required > to create a Report template for the Comparison Report Project > to open and edit the Report template that is used for the Comparison Report Project > to open and edit the Report that was created using the Comparison Report Project
50050	APR 050 Automation Project	The license for APR 050 is required > to create an Automation Project that is to be used as a template for the Comparison Report Project > to open and edit the Automation Project that is to be used for the Comparison Report Project
51001 to 51801	ASP 001 Basic Analysis to ASP 801 Basic Decoder	The licenses for all processes from ASP 001 to ASP 801 used in the sequences of the Automation Project are required to calculate the Automation Project using APR 021 (Various processes available in APR 000 are free of charge and do not need to be licensed)



お問い合わせ

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134
横浜ビジネスパークウエストタワー 8F

電話 : 045-340-2236
Eメール : headjapan@head-acoustics.com
ウェブサイト : www.head-acoustics.com